

原料費調整制度に基づく2025年2月検針分のガス料金について

当社は、原料費調整制度に基づき2025年2月検針分の原料費調整単価を **92.5 円/m<sup>3</sup> (税込)** とさせていただきます。  
これにより、平均的なガス使用量 (10 m<sup>3</sup>/月) では2025年1月検針分のガス料金に比べて **77 円 (税込) の値上げ**となります。

●原料費調整内容 (基準料金表) 2024年6月改定 ※下記料金は税込表記です

基本料金	従量料金		原料費調整単価
1,980 円(一般) 2,310 円(賃貸)	0 m <sup>3</sup> から 5 m <sup>3</sup> まで	594 円/m <sup>3</sup>	<b>92.5 円/m<sup>3</sup></b>
	5 m <sup>3</sup> をこえて 20 m <sup>3</sup> まで	539 円/m <sup>3</sup>	
	20 m <sup>3</sup> をこえて 30 m <sup>3</sup> まで	517 円/m <sup>3</sup>	
	30 m <sup>3</sup> をこえて 40 m <sup>3</sup> まで	473 円/m <sup>3</sup>	
	40 m <sup>3</sup> をこえる場合	429 円/m <sup>3</sup>	

●平均的なガス使用量 (下記例は一般料金で計算しています)

月間ガス使用量	2025年1月ガス料金<A>	2025年2月ガス料金<B>	前月比
10.0 m <sup>3</sup>	8,493円	8,570円	<b>+77円</b>

※従量単価に加減される原料費調整単価及び料金計算途中で算出される小数点以下の四捨五入等やインボイス計算により実際の金額とは異なる場合がございますので、予めご了承ください。

●原料価格など指標の推移

	10月	11月	12月
中東LPG指標:CP(ドル/トン)	625	635	635
北米LPG指標:MB(ドル/トン)	406	419	
為替レート:TTS(円/ドル)	150.69	154.85	
フレート(船賃):RIM(ドル/トン)	13,500	13,300	

●計算方法

基準原料価格 66,000 円/トン

FOB 価格 【 中東北米合成  $590.30 \text{ ドル} \times 154.85 \text{ 円/ドル} = 91,407.955 \rightarrow 91,400 \text{ 円/トン}$  】  
合成 CP  $635.0 \text{ ドル} \times 70\% + \text{北米 MB} 486 \text{ ドル} \times 30\% = 590.30 \text{ ドル}$   
中東合成 CP (11月 CP635<sup>ドル</sup>+12月 CP635<sup>ドル</sup>) ÷2=635.0<sup>ドル</sup>  
北米 MB11月 MB419<sup>ドル</sup>+67<sup>ドル</sup> (ターミナルフィー) =486<sup>ドル</sup>

フレート価格 フレート 13,300 円/トン

円換算 11月1日～末日 TTS 平均 154.85 円/ドル

LPG 輸入価格 FOB 価格 91,400 + フレート価格 13,300 = 104,700 円/トン

当月原料価格 104,700 円/トン + 石油石炭税 1,860 円/トン = 106,560 円/トン

原料費調整単価 (当月原料価格 106,560 円 - 基準原料価格 66,000 円) ÷ 1,000(kg) ÷ 0.482(m<sup>3</sup>) = 84.1

**2025年1月ガス料金の原料費調整単価は1 m<sup>3</sup>あたり 92.5 円 (税込) です。**